

『真に役立つ研究のデザインと統計処理』正誤表

ページ	行・図・表	<誤り>	<正しい>
23	図 2.11	図の横軸の「有」と「無」の左右が逆。	全ての図で、横軸が「無 有」の順。
42	図 3.4	縦軸の「確率密度」	「確率」
67	8 行	2 の場合には、1 より高い順位は、、、	2 の場合には、1 及び 2 より高い順位は、、、
80	図 5.8	$t = \frac{(128 - \mu)}{SE} \leq -2.861$	$t = \frac{(128 - \mu)}{SE} \geq -2.861$
95	6 行	$v_r = n_{all} - k = \dots$	$v_r = n_{all} - m = \dots$
96	式 6.15	$v = (n_1 - 1) + (n_2 - 1) + \dots + (n_k - 1) =$	$v = (n_1 - 1) + (n_2 - 1) + \dots + (n_m - 1) =$
100	表 6.12	場合 7、8、9 の数値の間違い	
		図 A :	
		場合 7    2、3                    1、4    5、6	場合 7    1、4    2、3    5、6
		場合 8    2、3    1、5    4、6	場合 8    1、4    2、5    3、6
		場合 9    2、3    1、6    4、5	場合 9    1、4    2、6    3、5
		図 B :	
		場合 8    7、2	場合 8    4、1.1
		場合 9    4、1.1	場合 9    3、0.9
101	図 6.6	表 6.12 の B の誤りが図 6.6 に反映している。	横軸 (ssbg) の 3 と 7 における確率が 0.133 (あるいは 2/15)
128	図 8.1	縦軸の「確率密度」	「確率」
129	図 8.2	縦軸の「確率密度」	「確率」
131	図 8.3	縦軸の「確率密度」	「確率」
147	式 8.17a	有病率 = $\frac{a}{a+b+c+d}$	有病率 = $\frac{a+c}{a+b+c+d}$
183	4 行	相関係数を用いると、完	ユールの連関係数を用いると、完
204	式 10.16	= 0.016	= 0.016463